

かのく

愛媛交響楽団広報誌第26号

平成13年12月発行

作成担当：オーボエパート

記事の目次

- 1頁 河野国光団長県功労賞受賞
中田勝博先生還暦のお祝い
- 2頁 指揮者インタビュー
愛響とインターネット
- 3頁 ソリストインタビュー
新入団員紹介
- 4頁 オーボエの○○○



10月24日、河野国光団長が県功労賞を受賞されました。この賞は県勢伸展に貢献した個人、団体に贈られるもので、愛響を創設され団長として、また奏者として永年にわたり団の運営、発展に貢献されたことが評価され今回の受賞となりました。11月11日午後6時半より大手町のJALシティ松山のスタールームを会場に、団長と奥様をお招きし団員、旧団員ら35名ほどが集まり祝賀会が開催されました。開催に先立ち元事務局長山田卓氏、コンサートマスター岩井倫郎氏からお祝い

河野国光団長 県功労賞を受賞

の言葉があり、団創設の苦労話などが述べられました。続いて団長より受賞の挨拶をいただき、岩井先生らの弦楽合奏を通りすがりにたまたま聴いたことが、愛響を創る切っ掛けになったことなどを話されました。旧団員として篠原さん、大中さん、秋山さんらがこられ昔話に花が咲いたようです。会の後半では有志による木管アンサンブル、弦楽四重奏が、披露され会場を沸かせました。

還暦のお祝い 中田勝博先生

去る9月24日(月)午後6時より、三番町のホテル、シャトーテル松山10階大ホールにて、中田勝博先生の還暦の祝賀会が開催され、愛響団員の中から30名程の参加がありました。開催に先立ち河野国光団長からお祝いの言葉が述べられ、続いて岩井倫郎先生、クラリネットの山崎潤さん、ファゴットの大野智也佳さんから祝辞がありました。その後出席者からの記念品として赤いトレーナーが送られました。会は終始和やかな雰囲気で進行し、途中岩井先生を中心とした弦楽四重奏とアンサンブル(木管六重奏)によるお祝いの演奏が披露されました。



創立30周年記念タイトル募集!

(締め切りは2001年12月31日)

来年の創立30周年記念行事の一つとして記念写真集の編集が始まりました。今までの愛響の歴史を振り返る写真や、今の写真などを満載した楽しめる写真集にしたいと思っています。どこかの国の首相の写真集には負けないぞ!と編集委員一同張り切っています。すてきなタイトルを思いついたらすぐ編集委員までご一報下さい。賞品もあります!よろしくお願ひします。

編集委員・花岡直樹、西山誠、山下ひさ子、桑原ちえ子、大野智也佳、薄墨昌澄

11月17日（土）青縁にてインタビューさせていただきました。

Q1. 今回のメイン曲、チャイコフスキーの曲に対する思いを聞かせて下さい。

7～8年前までと今とはチャイコフスキーに対するイメージが随分変わりました。以前は金管が良く鳴って分厚いイメージでしたが、そうではないと思うようになりました。チャイコフスキーはモーツアルトを心から尊敬していました。彼のような音楽を書きたかったのです。また、彼の育ったサンクトペテルブルグの町はとても美しく均整のとれた町で、まさしく古典派の音楽と同じなのです。僕自身は基本的に、音楽は食べ物と同じようにはかないもので、根性でやってはいけないと思うのです。今回の演奏会ではチャイコフスキーがモーツアルトのような音楽を作りたかったという事をみんなが念頭において演奏して欲しい、と思います。

Q2. 愛響は来年30周年を迎えます。それにあたって何か思い出がありましたらお聞かせください。

初めて来たのはまだ25か26歳の頃でした。当時は人がいなくて中学校で練習していましたよね。かれこれ20年近く愛響とかかわってきて感じることは「継続は力なり」です。続けていくことで人が集まり、社会の認知度が上がってくる。とても良いことだと思います。愛響は団費も安いし、集客力がすごい。いつも満員に近い状態で演奏できるなんてとても恵まれていると思います。今後は松山以外、例えば第9を演奏した新居浜などいろいろな場所で演奏する機会を設けるともっと発展するのではないかでしょうか。

Q3. 深山さんとはどういうお知り合いですか？

芸大時代、年上の同級生です。よくお酒を飲みについて行ってもらい、いろいろ教えてもらいました。特に深山さんが札響のコンマスをしていた時にはよく札幌に行き、一緒においしいものを食べに行きました。それから棒振りの先生の一人でもあります。自分ではここ10年くらいで指揮の仕方が変わったと思うのですが・・指揮者が棒を振って汗をかいではないと教えてくれました。

Q4. 音楽以外のご趣味はありますか？

趣味は子供ですね。子供（小2と年長の男の子）が出来てから自分が相当変わったと思います。発見が多くて…自分がいかに親のエゴによって我慢していたか逆に良くわかりました。人間ストレスをためると病気になりますよね。絶対ストレスをためないように子供を育てたいと思います。日々感じることは子供に対してもオケに対しても誰に対しても同じように接したいと思います。指揮がうまくなりたいと思えば誰に対しても同じ精神状態でいることが大切だと思います。僕は仕事で音楽をしている訳だから指揮をすることは、会社員が会社に行く、先生が授業をする。そういう事と同じだと思っています。そう考えると生活していても楽しいし・・何よりも音楽というものは気持ちいいことをやっていると思います。昔と違って、今は棒振りがきちんと振ればオケはきちんと行くものだということがわかってきました。

。。。。。。。愛響とインターネット。。。。。。。

コンピュータは今大変な勢いで進歩つつあります。私がパソコンを使い始めたのは10年ほど前ですが、その頃は専用機より沢山の文章が扱えるワープロとして使っていて、使いこなすにはかなりの修練が必要でした。今では簡単にきれいな絵を描いたり写真を加工したり、音楽を作ったりその他私が思いつかないことまで幅広い分野で個人レベルで使えるようになりました。特にインターネットという新たな通信手段により、ホームページの閲覧、電子メールでのやりとりなどは、今やなくてはならないものとなりつつあります。

愛響においても今年になってメーリングリストで情報交換が出来るようになりました。メールアドレスを持っている人は、練習日程はこれによって配信されるようになりました。これはメールアドレスを持っている人を登録しておくと、愛響メーリングリストに登録した誰かが1通のメールを送ると登録者全員にそのメールが送られるのです。しかし今はあまり活用されていないのが現状です。主に事務局からの練習計画の配信、個人の演奏会の案内、練習欠席の通知などで使われていますが、皆がもっと演奏する曲のことや、練習の方法などを意見交換できないものかと思います。かく言う私もなかなかメールを送ることが出来ずにいるのですが。皆さんも是非このことを考えてみてください。それからパソコンを使っていない方もこれを機会に始められてはいかがでしょうか。ご意見はメーリングリストへ。（薄墨昌澄）

Q1. 指揮者とソリストとの違いはありますか？

ヴァイオリニストとしては本職なので責任が重く、構えてしまって怖いですね。良い意味で指揮の方が自由で、心に余裕があります。オケの立場として現場の意見として物が言えますし、組合の委員長が管理職になった強みみたいなものですね。僕は現場に携わるものとして、出てくる音を聴きながら、その音をミックスさせていくことに関しては自身があります。指揮棒はもともとヴァイオリン奏者が弓を振ったことから始まつたのではないかでしょうか。あと、指揮者として決して譲らない人、細かいことを指摘しあうネガティブな人もいますが、田中先生は人がやってきたことを否定しない、さばさばしていて、ヒューマニズムにあふれた珍しいタイプの指揮者だと思います。

Q2. プロコフィエフの選曲理由と曲に対する思いを教えて下さい。

一般的に、プロコフィエフは近代的なイメージを持っていると思われていますが、2番の Vn コンチェルトは他の曲とは全然違っていて、ロマンティズムが非常に感じらる素晴らしい曲です。初めて聴いたときにプロコにこういうところもあるのかと新たな発見をしました。本番で演奏するのは初めてですが、ずっとやってみたかった曲です。練習すればするほど、もっとこういう風にやりたい、もっとカンターピレでこうしたいと思う曲です。好きな演奏家はオイストラフでそれまでのプロコフィエフのイメージをガラッと変えてくれました。



新入団員紹介

- ①楽器の経験年数および前歴 ②出身地 ③誕生日・星座・血液型
- ④好きな作曲家・作品 ⑤愛讐へ一言



コントラバス 宇戸午朗さん

- ①学生時はジャズ・クラシックは10年程・千代田フィルハーモニー・奈良交響楽団②大阪府
- ③昭和32年4月3日 牡羊座 A型
- ④R・コサコフ：シェザード プロコフィエフ：古典交響曲 メンデルスゾーン：イタリア
- ⑤Vn が多い。金管が充実している。全体に音が大きく豊かな印象です。このような素晴らしいオケで弾かせていただけて、大変うれしく楽しみです。皆さんの迷惑にならないよう指揮を見て、周りを聴いてしっかり合わせられるよう努力したいと思います。



コントラバス

佐藤秀人さん

- ①2年半②愛媛県松山市
- ③昭和52年11月28日
- 射手座 A型
- ④特になし⑤よろしくお願いします



打楽器

小嶋直也さん

- ①打楽器10年②愛知県
- ③2月18日 水瓶座 A型
- ④アーレム 交響曲第1番
- ⑤愛媛に来てもオケをやることができてうれしいです。よろしくお願いします。



オーボエの〇〇〇

さて、いきなり簡単なクイズです。上の〇〇〇にあてはまる言葉は何でしょうか？

ヒント1 フルートを除く木管楽器に絶対必要なもの。(木管の人、答えちゃだめよ)

ヒント2 1枚(または1本)あたりの価格200円~400円。

ヒント3 オーボエ、ファゴット奏者はこれを自作する。

ヒント4 寿命は3日~1ヶ月(休み休み使えば3ヶ月くらい?) おまけ カタカナ3文字

もうおわかりでしょうが、正解は**リード**です。上にある4つのヒントは、木管楽器以外の人にぜひ知ってもらいたい一般的なリードの特徴です。なにせ、これがないと木管楽器奏者は商売、いや演奏になりません。そして、とくにオーボエ吹きはこれに相当気を使っているのです。ちなみに今回のステージにのる愛響のオーボエ吹きは全員リードを作っています。自分の場合は最近サボリ気味ですが、大体1ヶ月に2,3本作ります。

オーボエ奏者のリードケースの中を見ると、大体20本前後のリードを持っていますが、その中のほとんどは、使えないものです。そんなものをなぜ大事に持っているのかというと、それらは、昔は本番で使う花形リードなのですが、寿命の関係で、使えなくなったものなのです。「そんなもの捨てちゃえば！！」という人もいるかもしれません、少し調整(ナイフで削ったり、ワイヤーを卷いたりする等)をすると、復活する場合があるのです。本番用のリードが割れたなど緊急事態の時に役に立ちます。

さてオーボエのリードの、サイズを測ってみました。

全長□mm、全幅□mm、重さ□g

では上の□にあてはまる数字は何でしょう？正解は筆者、また近くにいるオーボエ奏者のリードを借りて自分で調べてみてください。(鳩谷賢治)



オーボエ豆知識その1

左の写真の一番上がオーボエの完成リード。(薄墨製)白い部分は空気もれを防ぐテープです。巻かない人もいます。

一番下のケーンを半分に折って真ん中のパイプに糸で結んで作ります。
削り方は奏者によって千差万別。まさに職人技ですね。



オーボエ豆知識その2

上がイングリッシュホルンで
下がオーボエです。

よく見るとずいぶん違うものです。

編集後記

今回は、パソコンのスペシャリスト薄墨さんのお陰で、写真入りの素敵な「かのん」が出来ました。

2001年も早いもので後一ヶ月足らずですね。来年は愛響創立30周年、私達団員にとって節目となる大切な年です。

皆で協力して、団を盛り上げていきましょう。

次回の「かのん」担当は、クラリネット&ファゴットパートです。よろしくお願ひします。

オーボエパート一同(岩田、薄墨、鳩谷、永野、広浜)